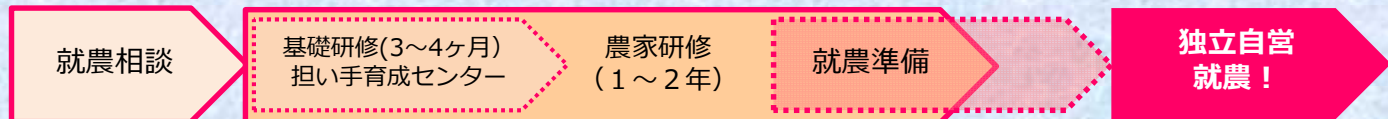


四万十町で キュウリ農家を 募集します！



就農までの流れ（I・Uターン就農）



就農までの流れ（親元就農）



求める人材

【共通】

- ① 年齢が20歳以上50歳未満の方（夫婦が望ましい）
- ② 受入農家のもとで1年間の実施研修を行える方
- ③ 慣行栽培で取り組みできる方

【Iターンの場合】

- ① JA部会活動及び地域活動に積極的に参加できる方
- ② 営農活動に使用できる自己資金（生活費を除く）が500万円以上ある方
- ③ 四万十町に居住できる方

【Uターンの場合】

- ① 営農活動に使用できる資金の確保ができる方
- ② 管内に居住する家族が同意する方

支援制度

【就農前】

- ① 研修期間中、最長2年間、国・県の支援制度あり

【就農後】

●独立自営の場合

- ① 就農してから最長5年間、国の支援制度あり

●親元就農の場合

- ① Uターン就農で農業担い手育成センターで3ヶ月以上の研修を受講する場合、県の支援制度あり
- ② 経営継承時、町の支援制度あり

*それぞれ要件があります

支援体制

●四万十町担い手育成総合支援協議会によるサポート

四万十町役場、JA高知県、高南農業改良普及所などで構成されており、就農相談から就農後も必要に応じてみなさんをサポートしていきます。

●JAキュウリ部会によるサポート

営農アドバイザ-巡回、現地検討会などにより栽培技術の向上に取り組んでいます。

ハウスキュウリ部会の紹介

ハウスキュウリ部会は平成12年から部会として活動がはじまりました。

パイプハウス内に秋に植え付けをし、夏まで収穫する促成栽培に取り組んでいます。品質の評価は県内でも高く、市場からの要請量は年々増えてきております。

また環境制御技術に積極的に取り組み、栽培技術の高位平準化に向けて研究を続けています。



就農後はJAキュウリ部会の活動等で技術向上



上写真
生産者圃場で実物を見ながら栽培技術について意見を出し合い勉強を重ねています。

左写真
産地トップレベルの生産者（営農アドバイザー）が巡回し、栽培に関するアドバイスをしています。

右写真
キュウリの出荷規格について確認しています。

キュウリ農家の作業体系と経営モデル

※就農5年後のモデルであり、所得を保証するものではありません。

	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
ハウス		定植	収穫									

経営面積

ハウス 20a

売上高

1,100万円

支出合計

755万円

所得

345万円

〈経営モデル〉 ■ 10a当たり収量 22t
■ 家族労働力2人+雇用

まずはお電話ください！

問い合わせ先：高知県農業協同組合 四万十営農経済センター営農指導課

高知県高岡郡四万十町榊山町586-2

TEL：0880-22-5179 FAX：0880-22-5177

E-mail：kos-shi-einoshido@ja-kochi.or.jp

令和元年8月策定